

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公表番号】特表2007-532979(P2007-532979A)

【公表日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-044

【出願番号】特願2007-508493(P2007-508493)

【国際特許分類】

G 09 G 3/36 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

G 02 F 1/133 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/36

G 09 G 3/20 6 2 1 F

G 02 F 1/133 5 7 0

G 02 F 1/133 5 7 5

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月9日(2008.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

現在のビデオフレームN内において目標画素値で表示されるべき画素の画素値が、前記現在のビデオフレームNの期間内に、低速画素領域に対応する低速画素閾値を超える移行を示すときに、当該画素に対して低速画素液晶のオーバードライブを提供する方法であって、

直前のビデオフレームN-1の期間内において前記画素にプレチルト画素値を適用することによって前記現在のビデオフレームNにおける開始画素値を変更し、前記変更された開始画素値により、前記現在のビデオフレームNにおける前記画素値の移行の期間内において前記画素の値が前記低速画素領域内にある時間を減少させて、前記現在のビデオフレームNに対応する期間内に前記画素の値を前記目標画素値に到達させる工程と、

前記現在のビデオフレームNの期間内に、前記オーバードライブされた前記画素を前記目標画素値で表示する工程と、
を備える、方法。

【請求項2】

請求項1に記載の方法であって、

前記現在のビデオフレームNと、前記直前のビデオフレームN-1とは、それぞれ、関連する画素値をそれぞれ有する複数の画素からなる、方法。

【請求項3】

請求項2に記載の方法であって、

前記複数の画素のそれぞれは、画素データワードPDに関連付けられている、方法。

【請求項4】

請求項3に記載の方法であって、さらに、

連結ユニットにおいて、

表示中である前記直前のビデオフレームN-1に関連づけられた画素に対応するmビッ

トの画素データワード P D m を受け取る工程と、

前記現在のビデオフレーム N 内で表示されるべき前記画素に対応する n ビットの画素データワード P D n を受け取る工程と、

前記 m ビットの画素データワード P D m と前記 n ビットの画素データワード P D n とを連結する工程と、

を備える、方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の方法であって、さらに、

前記連結されたデータワードをフレームバッファに格納する工程と、

前記連結されたデータワードを低速領域閾値と比較する工程と、

前記比較に基づいて低速領域標識を設定する工程と、

前記低速領域標識が設定されたときに、前記低速画素液晶のオーバドライブを前記画素に適用する工程と、

を備える方法。

【請求項 6】

現在のビデオフレーム N 内において目標画素値で表示されるべき画素の画素値が、前記現在のビデオフレーム N の期間内に、低速画素領域に対応する低速画素閾値を超える移行を示すときに、当該画素に対して低速画素液晶のオーバドライブを提供するコンピュータプログラムであって、

直前のビデオフレーム N - 1 の期間内において前記画素にプレチルト画素値を適用することによって前記現在のビデオフレーム N における開始画素値を変更し、前記変更された開始画素値により、前記現在のビデオフレーム N における前記画素値の移行の期間内において前記画素の値が前記低速画素領域内にある時間を減少させて、前記現在のビデオフレーム N に対応する期間内に前記画素の値を前記目標画素値に到達させるコンピュータコードと、

前記現在のビデオフレーム N の期間内に、前記オーバドライブされた前記画素を前記目標画素値で表示するコンピュータコードと、

を備える、コンピュータプログラム。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のコンピュータプログラムであって、

前記現在のビデオフレーム N と、前記直前のビデオフレーム N - 1 とは、それぞれ、関連する画素値をそれぞれ有する複数の画素からなる、コンピュータプログラム。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のコンピュータプログラムであって、

前記複数の画素のそれぞれは、画素データワード P D に関連付けられている、コンピュータプログラム。

【請求項 9】

請求項 8 に記載のコンピュータプログラムであって、さらに、

連結ユニットにおいて、

表示中である前記直前のビデオフレーム N - 1 に関連づけられた画素に対応する m ビットの画素データワード P D m を受け取るコンピュータコードと、

前記現在のビデオフレーム N 内で表示されるべき前記画素に対応する n ビットの画素データワード P D n を受け取る工程と、

前記 m ビットの画素データワード P D m と前記 n ビットの画素データワード P D n とを連結するコンピュータコードと、

を備える、コンピュータプログラム。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のコンピュータプログラムであって、さらに、

前記連結されたデータワードをフレームバッファに格納するコンピュータコードと、

前記連結されたデータワードを低速領域閾値と比較するコンピュータコードと、

前記比較に基づいて低速領域標識を設定するコンピュータコードと、
前記低速領域標識が設定されたときに、前記低速画素液晶のオーバドライブを前記画素に適用するコンピュータコードと、
を備えるコンピュータプログラム。

【請求項 1 1】

現在のビデオフレーム N 内において目標画素値で表示されるべき画素の画素値が、前記現在のビデオフレーム N の期間内に、低速画素領域に対応する低速画素閾値を超える移行を示すときに、当該画素に対して低速画素液晶のオーバドライブを提供する装置であって、

直前のビデオフレーム N - 1 の期間内において前記画素にプレチルト画素値を適用することによって前記現在のビデオフレーム N における開始画素値を変更し、前記変更された開始画素値により、前記現在のビデオフレーム N における前記画素値の移行の期間内において前記画素の値が前記低速画素領域内にある時間を減少させて、前記現在のビデオフレーム N に対応する期間内に前記画素の値を前記目標画素値に到達させる手段と、

前記現在のビデオフレーム N の期間内に、前記オーバドライブされた前記画素を前記目標画素値で表示する手段と、
を備える、装置。

【請求項 1 2】

請求項 1 1 に記載の装置であって、
前記現在のビデオフレーム N と、前記直前のビデオフレーム N - 1 とは、それぞれ、関連する画素値をそれぞれ有する複数の画素からなる、装置。

【請求項 1 3】

請求項 1 2 に記載の装置であって、
前記複数の画素のそれぞれは、画素データワード P D に関連付けられている、装置。
【請求項 1 4】

請求項 1 3 に記載の装置であって、さらに、
連結ユニットにおいて、
表示中である前記直前のビデオフレーム N - 1 に関連づけられた画素に対応する m ビットの画素データワード P D m を受け取る手段と、
前記現在のビデオフレーム N 内で表示されるべき前記画素に対応する n ビットの画素データワード P D n を受け取る工程と、
前記 m ビットの画素データワード P D m と前記 n ビットの画素データワード P D n とを連結する手段と、
を備える、装置。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載の装置であって、さらに、
前記連結されたデータワードをフレームバッファに格納する手段と、
前記連結されたデータワードを低速領域閾値と比較する手段と、
前記比較に基づいて低速領域標識を設定する手段と、
前記低速領域標識が設定されたときに、前記低速画素液晶のオーバドライブを前記画素に適用する手段と、
を備える装置。